

日時：2026 年（令和 8）年 1 月 10 日

受賞名：2025 年度物理化学インターカレッジ兼日本油化学会界面科学部会九州地区講演会
優秀口頭発表賞

研究タイトルなど：カゼインを基材とした透明膜状材料・多孔性材料の開発と応用

講演内容：

生分解性プラスチックの開発を目的として、牛乳のたんぱく質の主要成分であるカゼインのプラスチック化に関する発表を行いました。近年、牛乳の廃棄量が増大傾向にあり、SDGs の観点からもカゼインの利用が検討されている。添加剤を変化させることで、透明膜から多孔質膜の成膜を達成し、応用展開に関する基礎的な検討を行いました。

写真：

